

## 第82期決算公告

平成29年6月15日

東京都港区芝二丁目31番19号  
株式会社長谷工不動産ホールディングス  
代表取締役社長 天野里司

貸借対照表（平成29年3月31日現在）

（単位：百万円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>6,254</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>65</b>
現 金 及 び 預 金	6,157	未 払 金	31
売 掛 金	11	未 払 法 人 税 等	1
前 払 費 用	10	前 受 金	23
繰 延 税 金 資 産	54	賞 与 引 当 金	0
そ の 他	20	そ の 他	8
<b>固 定 資 産</b>	<b>2,091</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>324</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>1,870</b>	長 期 預 り 保 証 金	45
建 物	1,022	長 期 未 払 金	278
構 築 物	4	そ の 他	0
機 械 装 置	3		
車 両 運 搬 具	4	<b>負 債 合 計</b>	<b>390</b>
工 具 、 器 具 及 び 備 品	2		
土 地	833	<b>純 資 産 の 部</b>	
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>0</b>	<b>株 主 資 本</b>	<b>7,956</b>
ソ フ ト ウ ェ ア	0	資 本 金	100
<b>投 資 其 他 の 資 産</b>	<b>221</b>	資 本 剰 余 金	1,412
投 資 有 価 証 券	0	資 本 準 備 金	250
長 期 貸 付 金	112	そ の 他 資 本 剰 余 金	1,162
繰 延 税 金 資 産	0	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>6,443</b>
長 期 保 証 金	110	そ の 他 利 益 剰 余 金	6,443
そ の 他	4	繰 越 利 益 剰 余 金	6,443
貸 倒 引 当 金	△ 6	（うち当期純利益）	(303)
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>7,956</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>8,346</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>8,346</b>

## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

#### その他有価証券

時価のあるもの…決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっております。

### 2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

#### 販売用不動産・仕掛販売用不動産

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

### 3. 固定資産の減価償却の方法

#### (1)有形固定資産

賃貸用の有形固定資産およびゴルフ場施設の有形固定資産については定額法、その他の有形固定資産については定率法によっております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

#### (2)無形固定資産

ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### 4. 引当金の計上基準

#### (1)貸倒引当金

売掛金、貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

#### (2)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

### 5. 消費税等の会計処理の方法

税抜方式によっております。なお、控除対象外消費税等は、発生年度の期間費用としております。